

## 歳出の状況（一般会計）

**一般歳出 5兆6,122億円（前年度比 +790億円、+1.4%）**

- 一般歳出は、前年度に比べて1.4%増の5兆6,122億円となりました。
- **経常経費**は、東京の未来を切り拓くための戦略的な取組や、コロナ禍により大きな影響を受けた社会・経済の早期回復に向けた取組、安全安心な東京2020大会開催に向けた準備などにより、前年度に比べて**4.2%増の4兆6,719億円**となりました。
- **投資的経費**は、都市の骨格を形成する幹線道路の整備に伴う用地取得費の減などにより、前年度に比べて**10.4%減の9,403億円**となりました。
- **公債費**は、都債の償還をこれまで着実に進めてきた結果、前年度に比べて**4.8%減の3,323億円**となりました。

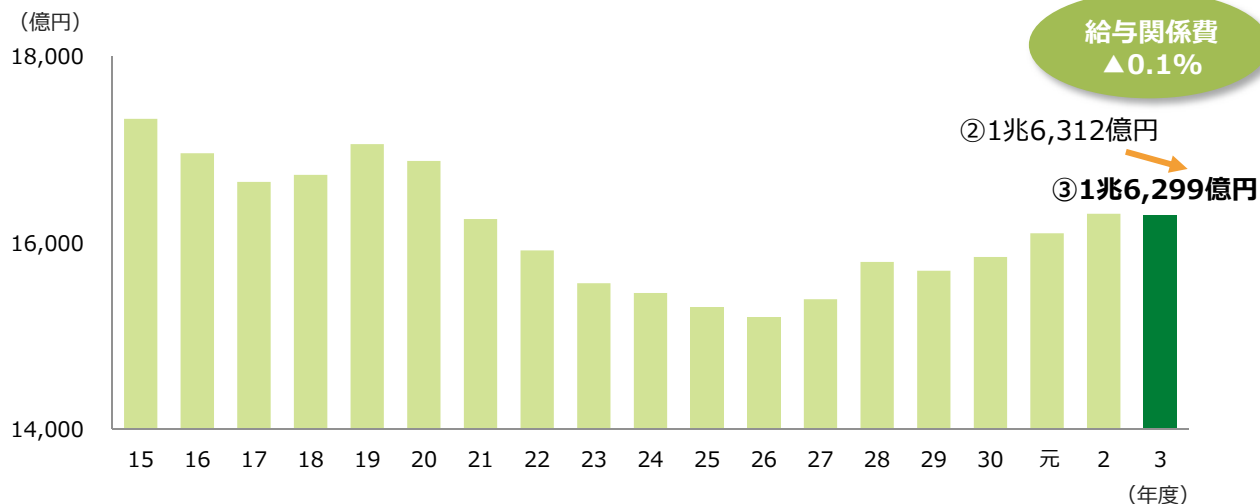
### 歳出の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
一 般 歳 出	5兆 6,122億円	5兆 5,332億円	790億円	1.4%
経 常 経 費	4兆 6,719億円	4兆 4,839億円	1,879億円	4.2%
給 与 関 係 費	1兆 6,299億円	1兆 6,312億円	▲ 14億円	0.1%
その他の経常経費	3兆 420億円	2兆 8,527億円	1,893億円	6.6%
投 資 的 経 費	9,403億円	1兆 493億円	▲ 1,090億円	10.4%
公 債 費	3,323億円	3,490億円	▲ 168億円	4.8%
税 連 動 経 費 等	1兆 4,806億円	1兆 4,718億円	88億円	0.6%
合 計	7兆 4,250億円	7兆 3,540億円	710億円	1.0%

## 給与関係費

- 給与関係費は、給与改定に伴う減などにより、前年度に比べて14億円の減となりました。

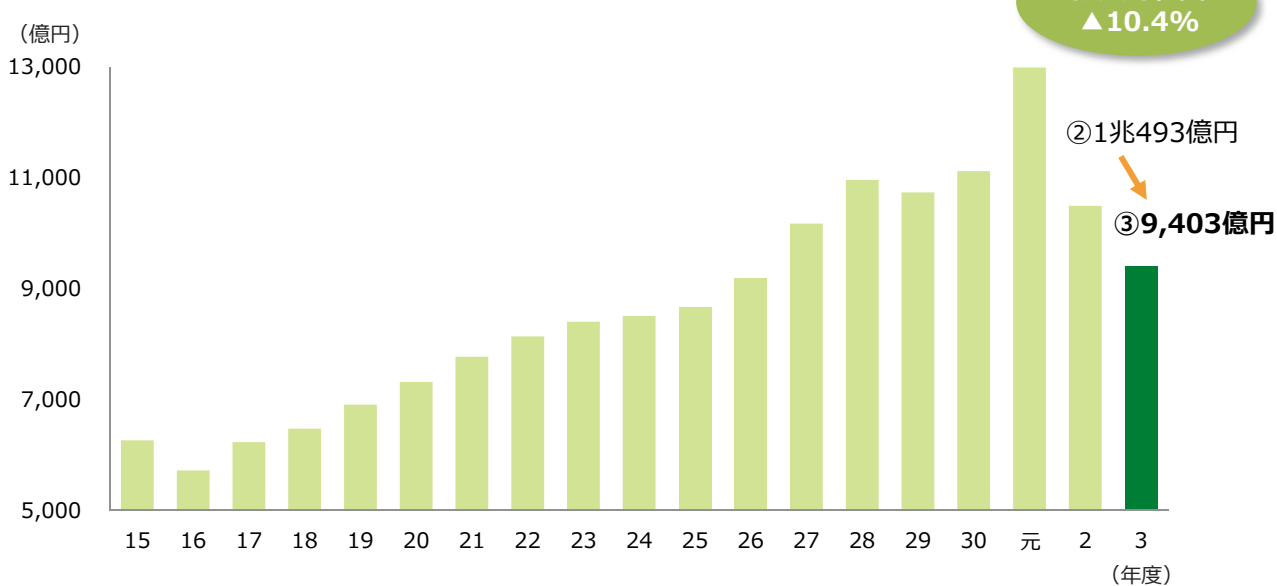
### ■ 給与関係費の推移（当初予算）



## 投資的経費

- 都民の安全・安心を確保するため、豪雨対策や震災対策などの災害に強いまちづくりを推進するなど、高い効果が得られる事業に財源を重点的に配分しました。
- 一方で、都市の骨格を形成する幹線道路の整備に伴う用地取得費の減などにより、投資的経費は前年度に比べて10.4%減の9,403億円となりました。

### ■ 投資的経費の推移（当初予算）



## 目的別内訳

- 一般歳出は、限られた財源を重点的・効率的に配分し、「福祉と保健」をはじめとする各分野で施策の充実を図り、都民生活の質の向上に努めています。

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
福祉と保健	1兆2,975億円	23.1%	1兆2,801億円	23.1%	174億円	1.4%
教育と文化	1兆1,680億円	20.8%	1兆2,087億円	21.8%	▲407億円	▲3.4%
労働と経済	5,333億円	9.5%	4,415億円	8.0%	918億円	20.8%
生活環境	1,993億円	3.6%	2,407億円	4.4%	▲415億円	▲17.2%
都市の整備	8,286億円	14.8%	8,684億円	15.7%	▲398億円	▲4.6%
警察と消防	9,032億円	16.1%	9,221億円	16.7%	▲188億円	▲2.0%
企画・総務	6,824億円	12.2%	5,717億円	10.3%	1,106億円	19.3%
一般歳出	5兆6,122億円	100.0%	5兆5,332億円	100.0%	790億円	1.4%
公債費	3,323億円	-	3,490億円	-	▲168億円	▲4.8%
税連動経費等	1兆4,806億円	-	1兆4,718億円	-	88億円	0.6%
歳出	7兆4,250億円	-	7兆3,540億円	-	710億円	1.0%

### ■ 分野ごとの増減理由

#### 福祉と保健

東京都出産応援事業～コロナに負けない！～の開始や、保育従事職員宿舍借り上げ支援事業の拡充などにより、1.4%の増となりました。

#### 教育と文化

都立学校の増改修の減などにより、3.4%の減となりました。

#### 労働と経済

新型コロナウイルス感染症対応に係る中小企業制度融資の増や、多摩産業交流センター施設の整備などにより、20.8%の増となりました。

#### 生活環境

ZEV導入促進事業などが増となる一方、自家消費プランの補助上限額の見直しなどにより、17.2%の減となりました。

#### 都市の整備

都市の骨格を形成する幹線道路の整備に伴う用地取得費の減などにより、4.6%の減となりました。

#### 警察と消防

行政手続等のデジタルシフトを推進する一方、警察、消防施設の整備費の減などにより、2.0%の減となりました。

#### 企画・総務

大会の延期や感染症対策の実施などによる、東京2020大会開催経費の増などにより、19.3%の増となりました。

\* 「企画・総務」には、共同実施事業等に係る東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への負担金等（3,714億円）を含みます。

## コラム 都民1人当たりの予算

- 令和3年度予算を、目的別に、都民1人当たりの予算に置き換えました。**少子高齢化対策や学校教育の充実、警察活動・消防活動などに、多くの予算が配分されています。**
- 平成元年度と比較すると「福祉と保健」が大きく増加する一方、緊急性や必要性を考慮した事業の重点化で、投資的経費を削減したことなどにより「都市の整備」は減少しています。
- このように、時代とともに変化する都民のニーズを的確に把握し、**限られた都税収入などの財源を、必要な施策に対して適切に配分**しています。

分野	令和3年度 予算	平成元年度 予算
 少子高齢化対策など「福祉と保健」に	92,923円	43,478円
 学校教育の充実など「教育と文化」に	83,651円	84,864円
 産業の活性化など「労働と経済」に	38,192円	27,296円
 廃棄物対策など「生活環境」に	14,271円	38,997円
 道路の整備など「都市の整備」に	59,342円	107,166円
 警察活動・消防活動など「警察と消防」に	64,690円	55,606円
 職員の研修・福利厚生など「企画・総務」に	48,871円	65,920円
 都債の元利償還など「公債費」に	23,795円	22,887円
 区市町村への交付金など「税連動経費等」に	106,039円	74,746円
合 計	531,773円	520,960円
都 税	361,319円	407,293円

\* 令和3年度の都内総人口は、「東京都の人口（推計）」（東京都総務局）における令和2年12月1日現在です。

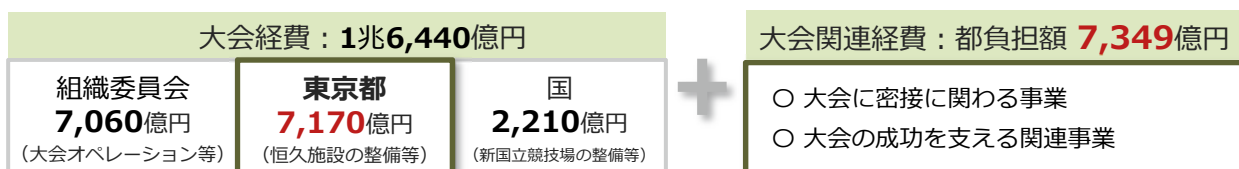
\* 平成元年度の都内総人口は、「東京都の人口（推計）」（東京都総務局）における平成元年12月1日現在です。

## 東京2020大会の成功に向けた取組

- 東京2020大会の開催に当たっては、「将来に負担を残さない」という考え方にに基づき、歳出の精査等により積み立てた**基金の積極的な活用等により財源確保**を図り、大会の成功に向けた取組を進めています。

### 東京都の負担額（見込み）

- 東京都の負担額は、大会経費と大会関連経費の合計で、**約1兆4,500億円**となります。



### 大会経費

- 大会経費は、恒久施設の整備などの「**会場関係**」の経費、輸送やセキュリティなどの「**大会関係**」の経費等を計上しています。
- 昨年12月の**組織委員会、東京都、国による追加経費の負担の合意**に基づき、都は大会延期に伴い必要となる追加経費のうち、**1,200億円程度を負担**することとなりました。
- その後公表された東京2020大会の組織委員会予算V5において、**新型コロナウイルス感染症対策などの大会延期に伴う追加経費が計上され、都の負担額は合計7,170億円**となりました。
- なお、この追加負担額については、**令和元年度決算剰余金や令和2年度予算の歳出精査により生み出された財源等を基金に積み立て、活用することにより対応**しています。

#### ■ 大会経費の内訳

(単位：億円)

区分	事業費	各年度内訳					
		～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	うち繰越	令和3年度
<b>会場関係</b>	<b>5,473</b>	<b>700</b>	<b>429</b>	<b>1,951</b>	<b>816</b>	<b>233</b>	<b>1,579</b>
● 恒久施設の整備 ➢ 東京アクアティクスセンター、有明アリーナの整備 など	2,260	653	292	1,221	9	—	85
● 仮設等 ➢ 都内・都外自治体所有施設における仮設整備 など	2,407	44	97	566	522	109	1,179
● エネルギー	422	1	26	102	97	6	197
● テクノロジー	384	2	14	62	188	118	118
<b>大会関係</b>	<b>1,047</b>	<b>0</b>	<b>42</b>	<b>132</b>	<b>144</b>	<b>38</b>	<b>729</b>
● 輸送	346	0	7	14	68	21	257
● セキュリティ	551	0	34	114	65	13	338
● オペレーション等	150	0	1	4	11	4	134
<b>新型コロナウイルス感染症対策関連</b>	<b>400</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>5</b>	<b>—</b>	<b>395</b>
<b>緊急対応費</b>	<b>100</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>100</b>
<b>収支調整額</b>	<b>150</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>150</b>
<b>合計</b>	<b>7,170</b>	<b>700</b>	<b>471</b>	<b>2,083</b>	<b>965</b>	<b>271</b>	<b>2,953</b>

\* 令和元年度までは決算額、2年度は最終補正後予算額、3年度は当初予算額です。

\* 令和3年度の内訳には、大会後の施設改修等、4年度以降の経費を含んでいます。

\* 収支調整額は、組織委員会の負担のうち、同委員会の経費削減努力や増収努力によっても賄いきれない費用について、東京都が負担するものです。

## 大会関連経費

- 大会関連経費は、既存体育施設の改修などの「大会に密接に関わる事業」の経費と、都市インフラの整備などの「大会の成功を支える関連事業」の経費を計上しています。
- 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策等の経費を計上した一方で、経費精査を進めたことなどにより、昨年度見込の7,766億円から減となり、**合計7,349億円**となりました。

### ■ 大会関連経費の内訳

(単位：億円)

区分	事業費	各年度内訳				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
<b>大会に密接に関わる事業</b>	<b>4,206</b>	<b>820</b>	<b>928</b>	<b>1,074</b>	<b>1,041</b>	<b>343</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存体育施設の改修、晴海地区基盤整備等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東京体育館などの改修</li> <li>➢ 選手村整備に伴う晴海地区の基盤整備事業 など</li> </ul> </li> </ul>	809	176	142	329	112	50
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 円滑な都市運営に資する輸送インフラ、セキュリティ対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 交通需要マネジメント</li> <li>➢ 競技会場周辺のセキュリティ対策 など</li> </ul> </li> </ul>	1,718	366	448	378	445	81
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市のバリアフリー対策、多言語対応等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 宿泊施設のバリアフリー化支援事業</li> <li>➢ 多言語対応の推進 など</li> </ul> </li> </ul>	750	141	183	187	198	39
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育・文化プログラム、都市ボランティアの育成・活用等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Tokyo Tokyo FESTIVALの推進</li> <li>➢ 都市ボランティアの育成 など</li> </ul> </li> </ul>	727	90	110	133	264	130
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 競技力向上施策の推進、障害者スポーツの振興                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 障害者スポーツの振興</li> <li>➢ 障害のある児童・生徒のスポーツ教育の充実 など</li> </ul> </li> </ul>	171	47	45	47	22	11
● 大会開催に向けた新型コロナウイルス感染症対策	32	-	-	-	-	32
<b>大会の成功を支える関連事業</b>	<b>3,143</b>	<b>623</b>	<b>827</b>	<b>987</b>	<b>570</b>	<b>136</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市インフラの整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 無電柱化の推進 など</li> </ul> </li> </ul>	2,527	523	730	824	444	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全・安心の確保等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 2020大会に向けたふ頭施設の警備強化 など</li> </ul> </li> </ul>	186	21	21	46	40	58
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光振興、東京・日本の魅力発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東京の観光PR、全国特産品等の展示紹介 など</li> </ul> </li> </ul>	371	70	67	82	84	68
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツの振興                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ スポーツイベント等の開催 など</li> </ul> </li> </ul>	58	9	9	35	2	4
<b>合計</b>	<b>7,349</b>	<b>1,443</b>	<b>1,754</b>	<b>2,061</b>	<b>1,611</b>	<b>479</b>

\* 令和元年度までは決算額、2年度は最終補正後予算額、3年度は当初予算額です。

### ■ 参考 東京2020大会に関連する都の歳出額（当初予算対比）

- 東京2020大会に係る令和3年度の都の歳出予算額（国負担分等を含む）は、4,224億円となります。

(単位：億円)

年度	大会経費				収支調整額	恒久施設の整備	大会関連経費(都事業)	その他(国の関連事業)	合計
	共同実施事業等	都負担分	国負担分						
令和2年度	2,630	2,596	2,389	207	-	34	2,079	-	4,709
令和3年度	3,736	3,564	2,717	847	150	22	479	9	4,224
増▲減	1,106	968	328	640	150	▲12	▲1,600	9	▲485

\* 国負担分等は国から国庫支出金を受け入れ、東京オリンピック・パラリンピック開催準備基金に積み立てた上で、支出しています。